

日中対照言語学会会報 (No.23)

2013年7月10日(月)発行 会報担当:高橋弥守彦 豊嶋裕子

目次

1. 日中対照言語学会第29回大会(2013年度春季大会)報告
2. 日中対照言語学会拡大常務理事会審議結果(2013年6月22日[土])
3. 日中対照言語学会第30回大会(2013年度冬季大会)および月例会研究発表者の募集
4. 役員選挙について

※事務局より

1. 日中対照言語学会第29回大会(2013年度春季大会)報告

2013年度日中対照言語学会春季大会は下記のとおり、会場に多くの会員を迎え、日中対照研究を中心として多方面にわたり活発な質疑応答がなされ、滞りなく終了いたしました。

記

日時:2013年5月26日(日)午前9時30分より午後5時30分まで

会場:東洋大学(2号館16Fスカイホール)都営三田線白山駅から徒歩5分、メトロ南北線本駒込駅から徒歩5分、JR山手線巣鴨駅から徒歩20分。

参加費:1000円(会員、非会員共通)

プログラム

受付(9:30-)	総合司会	竹島毅(大東文化大学)	
大会開催校挨拶	王亜新(東洋大学)		9:40-9:50
開会の辞	横川伸(東洋大学名誉教授)		9:50-10:00
研究発表1. 無対自動詞の意味的特徴について			10:00-10:35
	汪然(北京大学博士後期課程)		
研究発表2. 条件接続表現の日中対照“一p, 就q”を中心に			10:35-11:10
	馬一川(北京外国語大学博士後期課程)	以上司会	安本真弓(高千穂大学)
休憩(10分:11:10-11:20)			
研究発表3. 日本語の「名詞+助詞」と中国語の“介词+名词”の対応関係			
	劉志偉(首都大学東京)		11:20-11:55
研究発表4. 疑問表現形式としてのノデハナイカ			11:55-12:30
	戴宝玉(上海外国語大学)	以上司会	加藤晴子(東京外国語大学)
昼休み(60分 近くにレストランあり)			12:30-13:30
講演.	対人関係の言語学-社会文化的な視点から対照研究にアプローチする-		
	三宅和子(東洋大学)		13:30-14:30
研究発表5. 日中両言語における受身表現の表す意味体系			14:30-15:05
	高橋弥守彦(大東文化大学)	以上司会	山口直人(大東文化大学)

休憩 (15分: 15:05-15:20)

研究発表 6. “有着” 構文について 15:20-15:55

白愛仙 (明星大学 非常勤)

研究発表 7. 「V+着」とくV+テイル>について 15:55-16:20

時衛国 (愛知教育大学)

研究発表 8. 日本語の「～タコトガアル」と中国語の“V过” 16:20-16:55

王学群 (東洋大学)

以上司会

続三義 (東洋大学)

総会 平山邦彦 (拓殖大学) 16:45-17:15

閉会の辞 鈴木義輝 (早稲田大学) 17:15-17:30

※入会申し込み、学会開催当日に学会費の納入も受け付けます。(年会費: 社会人 4000 円、院生 2000 円)

2. 日中対照言語学会拡大常務理事会審議結果

日中対照言語学会拡大常務理事会審が以下のとおり開催されました。

2013年6月22日(土) 15時～18時 於 東洋大学8号館M201号室

出席者: 高橋弥守彦、豊嶋裕子、佐藤富士雄、王学群、山口直人、続三義、竹島毅、安本真弓、椿正美、橋本幸枝

(1) 日中対照言語学会新執行部選出の件について

2013年度春季大会の総会(5月26日[日])で高橋理事長より説明があったとおり、現執行部による推薦という方法で選出することになったが、選出方法の決定(4月27日[土]開催拡大常務理事会)が遅かったため、すぐに新執行部体制を整えることが困難で、協議の末、2014年5月までは現状維持ということになった。2014年5月総会に諮る新執行部案を12月大阪大会での常務理事会までに決定できるよう、原案を作成する。新執行部案には関西の理事からも意見を募るのが望ましいとの提案があった。この件は、8月開催の次回常務理事会で継続審議する。

(2) 学会誌について

2012年度14号は200部(出版社へ支払う製作費は10万円)発行したが、残部の52冊をすべて中国支部に送付した。2013年度15号は250冊(製作費は10万円)。現在中国支部には62名の会員がおり、会員の増加に伴い、2014年度16号から300冊発行し、出版社へ支払う製作費は15万円とする。この点を2014年度春季大会の総会で諮る。

(3) 中国支部の件について

昨年8月から準備を始め、今年3月に中国支部が発足した。現在会員数は62名。中国側の会費は、社会人会員200元、学生100元。

徴収した会費の配分について、5月26日の2013年度春季大会の総会では、高橋理事長より4月開催の拡大常務理事会の審議結果として「日本:中国の配分を5:5あるいは4:6との案があり、日本で諸費用が負担されているので、これから5:5で提案していきたい」との説明があった。それに沿って中国語側責任者との連絡をしていたが、中国支部内に5:5には反対者が出

たので、4：6で同意した旨が高橋理事長より説明された。

拡大常務理事会に出席できなかった常務理事から、この配分の根拠が不明瞭で、正確に費用を計算した上で検討・提案すべきであり、このような重要議題を欠席した常務理事を除外して決定するのは問題であるとの異議が出された。14年度の学会誌発行（送料は除く）と学会運営にかかる実費の合計32万8千円を会員数（日本126+中国62）で割ると会員1名あたりの負担額は1745円で、これに中国への送料を加えると中国会員1名につき1955円（約122円）の実費がかかる。中国支部の会員は学会誌の質を高めるために歓迎したいが、日本側に費用負担が偏ることは、日本国内の会員から賛同を得られない恐れがある。理事長から中国支部へ具体的な数値的根拠を示して再度5：5で提案してもらい、この件は次回継続審議することとした。なお、中国支部への学会誌送付は10月以降、今年度の会員が確定して日本への送金が行われた後とする。

（4）中国の学会との協力関係について

上海外国語大学とフランスの中国語教師協会共催による「第二屆汉语独特性理论与教学国际研讨会」が本年の10月上海外国語大学で開催される。この度、上海外国語大学の責任者周上之先生より、日中対照言語学会に本シンポジウム参加への通知などで協力の依頼があった。このシンポジウムには中国を代表する専門家（北京大学陸俊明先生など）が多数参加されるので、学問研究促進のために、これから本シンポジウムに対し、本学会会員への通知などで協力することが採択された。

（5）その他

○会費未納者には再度請求する。

○ホームページの更新が遅く、執筆要領等古い内容のままになっており、問題である。改善のために、担当者の変更や、業者に委託することも検討したい。

○次回の常務理事会は、8月3日（土）午後2時～6時、東洋大学で開催予定。

（以上文責 豊嶋裕子）

3. 日中対照言語学会第30回大会（2013年度冬季大会）および月例会研究発表者の募集

拡大常務理事会では、次の2点が再確認された。

1）日中対照言語学会第30回大会（2013年度冬季大会）は記念大会として、予定通り講演者を3名とする。人選は副理事長をはじめとする関西方面の常務理事の方をお願いします。

2）記念大会なので、12月中の土、日に行うのが望ましい。できれば、土曜日の夜に懇親会も行う。会場などはやはり副理事長をはじめとする関西方面の常務理事の方をお願いします。

30回大会（モダリティ特集大会）および月例会の研究発表者を募集いたします。30回大会は10月7日（月）までに東洋大学（王学群 Lwn365@yahoo.co.jp）または大東文化大学（高橋弥守彦 3441748402@jcom.home.ne.jp）までお申し込みください。月例会は随時募集いたします。原則として4月から7月は東洋大学、9月から3月は大東文化大学で開催いたします。ご連絡をお待ちいたしております。なお、8月および春季・冬季大会開催月は月例会を休会といたします。

4. 役員選挙について

拡大常務理事会で慎重に選挙方法について審議した。経過は以下のとおりである。2013年1月28日（月）発行（No.21）では、次の3案を紹介した。第1案：半数の常務理事を選挙する。第2案：従来通りとする。第3案：会員からの意見により行う。

第3案は締め切り期日までに会員から事務局長への提案がなかったため、第1案と第2案のいずれかで話し合いがなされたが、結果として第2案が大多数で支持された。しかし、この件は学会にとって非常に重要なため時間をかけて審議する必要があるとの結論に達した。そのため、現執行部を一年間延長し、第30回大会までに次期理事長などの新執行部を選び、来年の春季大会に総会にかけることとした。

この件については、2013年6月22日（土）15時から18時に東洋大学8号館M201号室で開催された日中対照言語学会拡大常務理事会でも討論されたが、結論を出すまでにはならず、他の議案とともに、次回の常務理事会（8月3日〔土〕東洋大学）で再度議論することとした。

事務局より

- 1) 学会の入会は、日中対照言語学会ホームページ上で随時受け付けています。ただし、申し込みができない場合は王学群事務局長（Lwn365@yahoo.co.jp）、または竹島毅理事（sisi@crest.ocn.ne.jp）までご連絡をください。年間会費は社会人4000円、院生2000円となっています。皆さんの入会を歓迎いたします。
- 2) 毎月の例会の開催は、郵送ではなく、メールにてご連絡させて頂いております。不明の方がいらっしゃいますので、ぜひお知らせいただきたくお願い申し上げます。また、メール変更につきましても、同様にお願い申し上げます。
- 3) 年間会費の納入について
2013年度の大会開催時に年間会費の納入を受け付けております。また、都合により出席されない会員に対しては次号の会報から請求書を送付させていただきますので、ご納入のほどよろしくお願いいたします。